

## メンター・アワード 2011

# 組織 優秀賞3組織を発表

「ワーキングウーマン・パワーアップ会議」と日本生産性本部は3日、「メンター・アワード2011」の受賞者を発表し、組織部門の優秀賞として、全日本空輸、オークローンマーケティング、上智大学の3組織を選んだ。個人部門の受賞者はなかった。

全日本空輸(東京都港区)は、目標となる先輩女性社員が少くない環境を改善するため、入社5年目の女性の総合職・技術職・運航乗務員などを対象に、1泊2日のキャリアアップセミナーを実施するとともに、希望者にはメンター制度を9カ月間実施している。メンター制度を本音で話せる場とするため、事務局(人事部)への報告義務を課さず、相談には乗るが、極力事務局

は介入しないようにしている。女性管理職比率は08年7・1%、09年8・0%、10年8・2%と上昇している。オークローンマーケティング(愛知県名古屋市中)では、社員の9割以上が転職者であったために、前職での経験や知識に頼り、OJTなどが積極的に行われる風土ではなかったが、新卒

者の定期採用を始めたことをきっかけに、人材育成のあり方を見直し、新卒社員を対象とするメンター制度の導入やOJTの推進を行った。週に1回はメールや面談・食事などでの接点を持ち、月に1回は報告書を出すと行ったメンター活動などを行った結果、新卒者の離職率はメンター制度導入前に比べ、1割低下した。

上智大学(東京都千代田区)は、理工系の女性研究者を育成するために、世界各国の研究者をメンターに迎えた「グローバルメンター制度」を導入したほか、学部4年生以上の女子学生などがメンターとなる「学生メンター制度」、卒業生がメンターとなる「卒業生メンター制度」を設け、3段階でメンター制度を実施している。グローバルメンターとの交流で意識啓発を受け、国際社会に踏み出す足がかりとなっているという。

受賞組織は、3月11日に東京都内で開催される「エンプowerメント・フォーラム2011」の席上で表彰される。